

## 「私は「これ」で大学に合格しました。」

教育サポーター（元小学校教師）

仲島正教

今から36年前、高校3年生の時、担任との進路面談がありました。

「将来は教師になりたいので、教育大学を受けたいです」

と私が言うと、担任はこう言いました。

「君には無理だ。この前の模試の偏差値をみなさい。到底無理！」

「それはわかっています。だから浪人してでも教育大学を受けたいのです」

「君は浪人しても無理だ！」

私はこの担任の言葉にカチンときました。（なにが浪人しても無理だと！）

その時、私の心の中に、ある言葉が浮かんできました。

それは小学校卒業間際の6年担任のA先生の言葉です。A先生はクラスみんなにこんな問題を出してきました。

「鼻から出てくる黒いものは何か知っているか？」

いきなりの変な問題に私たち6年は、

「センセイ汚いよ。それ『鼻くそ』でしょ（笑）」

「その通りだ、よくわかったな。では、耳から出るものは何か？」

「センセイまた汚いよ。それ『耳くそ』でしょ（笑）」

「その通り、じゃ目から出るのはなんだ？」

「センセイ、それは『目くそ』です」

「じゃあ、お尻から出るのはなんだ？」

「わあーまた汚い！それは『糞（くそ）』です」

「その通りだ。でもみんな汚いというけれど、この『クソ』は人間の生活に、とっても大切なことなんだ。体の中からこの『クソ』が出るから健康でいられるんだよ。ところで最後にもう一つ問題があるんだ」

「何？センセイ、早く出してよ」

「最後の問題です。では（胸をおさえて）ここから出る『くそ』は何でしょうか？」

「・・・・・・・・・・？」

「わからないようだね。では答えを言おう」

そう言って先生は、胸のポケットから一枚の紙を出して広げました。そこにはこう書いてありました。 なにくそ

「これから人生の中で、苦しいことや辛いこと、また悔しいことにも必ず出会うことがある。その時にくじけたらダメだ。そんな時に、心の中から『なにくそ』を出すんだ。そしてあきらめずに頑張るんだ。わかったか『なにくそ』だぞ。ただし、一つだけダメな『くそ』もあるから気をつけろ。それは『やけくそ』だ。これはダメだぞ。」

私は、この『なにくそ』で教育大学に現役合格しました。